

第二回

神空

カムクラ

—神々への舞—

大蛇 各地に伝わる八岐大蛇の形態

● 奉祝天皇陛下御即位

佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録記念事業



主催 「佐陀神能」ユネスコ無形文化遺産登録記念事業実行委員会

後援 島根県教育委員会／松江市／松江市文化協会 エネルギア文化・スポーツ財団助成事業 松江市文化協会加盟団体助成事業
協力 社☆ガール(神社ガールズ研究会)

お問い合わせ先 佐太神社々務所 ☎ (0852)82-0668 <http://www.sadajinjya.jp/>

ご挨拶

「佐陀神能」ユネスコ無形文化遺産登録記念事業実行委員会委員長

佐陀神能保存会 会長 石橋 淳一

拝啓

時下ますますご清祥の段お慶び申し上げます。平素より佐太神社 並びに佐陀神能保存会の儀につきましては、毎々ご崇敬の思召しをもつて格別の御高配を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

拡、天皇陛下のご即位に伴い 平成から令和へ新しい元号にかわりました。令和の御代の平安と皇室の栄光を衷心よりお祈り申し上げます。

この度御即位記念御奉祝行事として、また「佐陀神能」ユネスコ無形文化遺産登録記念事業の一環として、「神座・神々への舞」第二回目を開催する運びとなりました。

今回は、各地に伝わっている古事記・日本書紀の八岐大蛇退治の神話題材にした神楽について、大蛇の四つの形態（立ち大蛇、トカゲ蛇、幕蛇、提灯蛇）に着目し、神楽文化の多様性を分かりやすく表現すると共に、神楽への理解と伝統文化の継承に対する機運醸成や地域連携による交流人口の拡大を図りたいと考え、比婆荒神神樂社 見々久神樂保持者会 奥飯石神樂保存会の皆様と佐陀神能保存会の四団体による共演を計画致しました。同じ演目でそれぞれの特徴を比較するという画期的な企画で、それぞれの団体が伝統を守り 保存継承に努力されておりますことを多くの方に知つていただきたいと思います。

末筆となりますが、諸事多難な折、本事業の趣旨にご賛同ご協力いただきました皆様方に心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

敬具

佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録記念事業

第一回 神座—神々への舞—

カムクラ



大蛇オロチ
各地に伝わる八岐大蛇の形態
特別演舞「猿田彦之命の舞」

立ち大蛇ヤマタノオロチ
佐陀神能保存会
演舞「八重垣」

トカゲ蛇ヤマタノオロチ
見々久神樂保持者会
演舞「八頭」

幕蛇ヤマタノオロチ
奥饭石神樂保存会
演舞「八頭」

提灯蛇ヤマタノオロチ
比婆荒神神樂社
演舞「八重垣の能」

16:10 一六時一〇分



提灯蛇

比婆荒神神樂社

演舞「八重垣の能」

15:20 一五時二〇分



幕蛇

奥饭石神樂保存会

演舞「八頭」

14:30 一四時三〇分



トカゲ蛇

見々久神樂保持者会

演舞「八頭」

13:40 一三時四〇分



立ち大蛇

佐陀神能保存会

演舞「八重垣」

13:10 一三時一〇分



比婆荒神神樂社

特別演舞「猿田彦之命の舞」

大蛇オロチ
各地に伝わる八岐大蛇の形態

第一回



カムクラ

松江市

佐 陀 神 能 保 存 会



七座神事「御座」

遺産に登録されています。



に基づいた題名です。

佐陀神能の大蛇は、「立ち大蛇」と呼ばれ、赤い鬼面に鱗紋の衣装

を着け、両手に柴を持ち背には柴を負った立ち姿で、口上を述べることも特徴的です。大蛇面には十六の目を刻み大蛇が八頭であることと表し、大鼓を酒樽に見立てるなど象徴的な表現も見どころです。

また、脚摩乳・手摩乳は登場せず、神話には登場しない『素戔鳴尊の臣下』が大蛇退治の由来を物語ります。

立ち大蛇 八重垣 ヤエガキ

佐陀神能は、神事の式次第から発達した採物舞の「七座神事」、神法祭としての「式三番」、『日本書紀』の神話や神様の功績などを題材とした「神能」の三部構成となつておらず、特に神能は佐太神社の神官が、約四百年前の慶長年間に京より能を習い覚えて帰りその方式を取り入れ、從来の神楽を格調高いものに創り上げたと伝えられています。この形式が確立され、能方式を取り入れた独特の形をもつて伝承されている神楽という点では他に類するものが少なく、出雲国二ノ宮である佐太神社の勢力も相まって、出雲、丹波及び近隣

諸国の神楽に影響を与えていました。

江戸時代をとおして、佐陀神能は佐太神社の触下三郡半（島根、秋鹿、楯崎と意宇郡西部）の神社の神職、巫女の役目として行われてきましたが、現在では神職と松江市内の有志による佐陀神能保存会によって伝承しています。

九月二十四日・二十五日の佐太神社の御座替祭で舞うほか、近隣の神社の秋のお祭りなどで奉納しています。昭和五十一年国的重要無形民俗文化財に指定され、平成二十三年にユネスコの無形文化

八重垣は『日本書紀』の神話にある素戔鳴尊の八岐大蛇退治を題材としたもので、素戔鳴尊の御神詠

八雲立つ

出雲八重垣・妻籠めに
八重垣つくる

その八重垣を

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関、United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization.N.E.S.C.O.）は諸国民の教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉の促進を目的とした国際連合の専門機関です。



出雲市 見々久神樂保持者会

天下泰平
國家安全

トカゲ蛇 八頭



見々久神楽では前段と後段に分けて演じます。まず前段は姫取り、後段は蛇切りとなります。前段の姫取りは、足名槌(あづなづち)が姫を中心に手を取り合い出来ます、足名槌が扇を持ちて、事次第を語りながら、一周して右によった所へ、須佐之男命が出て来ます、ひと舞あつてその後は、尋ね舞をします。やがて三人みづけで、足名槌に事情を聞き、足名槌は姫の命が助かるならば、姫は尊に差し上げますと言うと尊は姫の手をとり連れてゆきます、その後足名槌と手名槌が酒の入った樽を抱ぎ出します。続いて蛇が出て来ます、蛇は樽の酒を飲み干します、酔つて寝ています。そこへ須佐之男命がやって来て、蛇を退治して、最後蛇の首をとり、嬉しきの舞をして終わります。



彦張



見々久神楽は、約二三百年前に御崎神社が造営され、その氏子となって現在に至るまで、毎年十月二十日の例祭に奉納しています。また、出雲大社、讃岐金刀比羅宮や近郊の神社などへの奉納を行じめ、出雲市の文化財発表会にも参加しています。全体の構成は、他の出雲地方の神楽と大体同じですが、他の神楽団体では既になくなつた演目をかなり多く残しています。昭和三十四年八月出雲市無形文化財に指定、ついで昭和三十六年六月島根県無形民俗文化財に指定されました。出雲地方の神楽の原則に従つて、初めに座清があり次いで七座、採物舞を七番、次いで儀式としての式三番を二座、これが終わると、能舞の二十四番と続きますが、中でも式三番の翁と狂言の節分詣は、他の神楽団体には残つているところはありません。出雲地方の神楽は、近世の初め頃、佐太神社の神職が能樂の所作を取り入れて、それまでの神楽を整理した、いわゆる佐陀神能というものを成立させて以来、その影響を受けてはいますが、祝詞の天蓋降りし、弓鎮守、彦張など、佐陀神能には見られない演目もあります。

飯南町 奥飯石神樂保存会

オクイイシカグラ



幕蛇 八頭
ヤトウ



切目

「神能」の「八頭」は、『日本書紀』を底本にしていますが、出雲神話を詳しく載せていく『古事記』を精読すると、三刀屋川流域、特に雲南省吉田町を中心とした話として仕立てられています。奈良時代、飯石郡は、意宇郡に次いで大きな郡でした。出雲の南西端にあって出雲鴨族として知られる渡来系弥生人がこの地を足掛かりに弥生文化を全国に伝え、出雲王族もこれを起源として宍道湖・中海に進出して行ったことが『古事記』、『万葉集』の柿本人麻呂の石見相聞歌、また、『須佐家系図』、三瓶山の噴火調査、志津見ダムの遺跡調査等を総合することにより導き出することができます。八頭大蛇はその後の出雲王国の内紛を神話化したものと考えられます。

楽曲は、足名椎たちが登場する際は「憂いの謡」、素戔鳴命が登場する時や足名椎・手名椎の舞は「静か拍子」、大蛇が登場する際は「あがはり葉」、素戔鳴命が大蛇退治に登場する曲は「いかわの儀物」、大蛇と素戔鳴命の格闘は「いかわの儀物くすし」、退治したあと十束の剣と天の叢雲の剣を持って「静か拍子」で舞い、「謡」で舞い納めます。

大蛇は百幕に逆鱗を配し、幕胴に三人入り、袖を両手に持つて幕を支えています。大蛇の出、素戔鳴命の出は非常に遅く、じれったい舞ですが、大蛇を退治する所作に決まりがあるものの、試合はあつけないほど短いものです。

奥飯石神樂は、飯石郡の南部、飯南町と雲南省吉田町民谷、掛合町波多と入間など、旧広瀬藩の飛び地で舞われていた神樂で、「飯石能」と呼ばれることがある出雲神樂です。当地域は石見銀山領に接しており、江戸時代を通じて江の川から東の銀山御料の地域とほぼ同じ神樂を奉納していました。佐陀神能を起源とする「七座」と「神能」の間に「三番叟」を加えた三部構成で、奏楽は石見神樂にも通ずるものがあり、舞座の装飾、台詞等には山岳仏教の影響が見られます。「七座」は明治維新まで地域内それのお宮の祭式そのものとして行われていましたが、国により神社祭式が制定公布されたため、お祭りの賑わい行事の「神樂」として伝承されることになりました。能の所作は長い間に薄くなっています。

現在、神職で構成する「奥飯石神職神樂」と、域内五地区に所在する神樂奉納組織があります。神職神樂の構成員は、それぞれの地区の神樂組織に属して神樂奉納します。今回「八頭」を演するのは、飯南町赤名・来島地区の会員で組織する「奥飯石神樂保存会」です。

奏楽は「七座」において鑿、太鼓、笛、手拍子と鼓を使用しますが、「三番叟」と「神能」では鑿を使いません。また、笛や太鼓がそれぞれの技量に応じて変奏するため、手拍子以外、各楽器は一丁ずつで演奏し、笛、太鼓がそれぞれ複数で合奏することはありません。奥飯石神樂は奏者個人の技量を聞く神樂です。

広島県東城町

比婆荒神神樂社

構成員は比婆荒神神樂社、神職部会、学識経験者等で構成されています。「比婆荒神神樂社」が比婆荒神樂の舞手組織の正統繼承者です。毎年行われる小神樂や式年の大神樂を行うほか、町内外で行われる神樂競演大会や文化祭などに出席するなど、伝統文化の振興や観光振興に大きな役割を果たしています。

また、平成十三年からは地元の小・中学校及び高校生を対象とした「比婆荒神神樂子ども神樂塾」を開講するなど、荒神神樂の保存継承を図るために、後継者の育成にも力を注いでいます。昭和五十四年國の重要無形民俗文化財に指定されました。平成十四年エネルギア伝統文化賞受賞、平成十六年広島県地域文化功労者表彰受賞、平成二十七年第三十八回広島文化賞（団体の部・伝統・民俗芸能）受賞、平成三十年全国芸能文化大賞受賞をしています。



提灯蛇 八重垣の能
ヤエガキノノウ



「猿田彦之命の舞」

優雅な柳舞とは対照的に、勇ましくテンポの早い舞であります。最初に「案人(あど)」が出て、猿田彦の神徳を語り、ひとさし舞った後「七難三災悪魔降伏、疾病消除、諸難退散の大神なれば神前に舞遷さばや・・・」と楽人を促し、太鼓方が「心得申して候」と応じ、猿田彦が登場となります。所堅めの神、すなわち悪魔払いの舞であります。最後に長刀の舞となりますが曲芸的要素と見られますが、先払いの苦労を表現するものであります。

神代の昔、天神七代の神、伊邪那岐、伊邪那美的二神は多くの神をお産みになりました。その神の内、天照皇大神の弟神に須佐之男命という大変豪勇の神がおられました。が、天照大神の怒りを蒙り、高天原を追放となります。道中、簗の川上に住まいする、足名槌、手名槌との出会いとなります。両翁には、八人の娘がおりましたが、大蛇に七人まで取りざらわれ、稻田姫もさらわれようとする時に当たっていることを知ります。そこで、稻田姫を妻とすることを約束し、松尾明神に八千石の毒酒をつくらせ、大蛇に飲ませ、退治するというあらすじであります。

第一景 須佐之男命の大蛇退治

第一景 足名槌、手名槌の翁との対談

第二景 稲田姫の道行と出会い

第四景 松尾明神酒造り

第五景 須佐之男命の大蛇退治



損保ジャパン日本興亜 代理店
損保ジャパン日本興亜ひまわり生命 代理店
第一生命 代理店

株式会社 アシストジャパン

〒690-0011 島根県松江市東津田町 373-10 TEL(0852)67-2150



本社 〒690-0017 島根県松江市西津田2丁目2番15号
TEL : (0852)31-1074 FAX : (0852)31-1068
ホームページURL <http://www.rabbit-ltd.co.jp/>



さんびるホールディングス株式会社
〒690-0045 島根県松江市乃白町薬師前3番地3
TEL:(0852)26-0335 FAX:(0852)26-0339
<https://www.sanbg.com/>

島根県中小企業団体中央会
会長 杉谷 雅祥

恵曇郵便局 局長 青山 豪太郎
〒690-0399 島根県松江市鹿島町武代 47-8
TEL (0852)82-1000 FAX (0852)82-2615 <http://www.post.japanpost.jp/>

公益財団法人
しまね文化振興財団 島根県民会館
Culture Foundation of Shimane Prefecture
館長 若槻 真二
〒690-0887 島根県松江市殿町158
TEL (0852)22-5506 FAX (0852)24-0109
<https://www.cul-shimane.jp>

鹿島マリーナ株式会社
〒690-0332 島根県松江市鹿島町佐陀本郷 1371-1
Tel: 0852-82-9220 Fax : 0852-82-9222

松江アーバンホテル グループ
MATSUE URBAN HOTEL GROUP
<http://www.matsue-urban.co.jp/>

後藤勇公認会計士・税理士事務所

〒690-0001 島根県松江市東朝日町 198-15
TEL (0852)60-1360

時の神様の贈りもの
日本結婚相談所連盟
わかばやし よしこ
若林 誉志子

〒639-0262
奈良県香芝市白鳳台2丁目1-1
携帯 090-2591-0222
HP tokinokamisamano-okurimono.jp
blog.tokinokamisamano-okurimono.com

金万商店 井上 正行

〒690-0321 島根県松江市鹿島町武代 224-2 (0852)82-0006

山本和良土地家屋調査士事務所
土地家屋調査士 山本和良

〒690-0322 島根県松江市鹿島町恵曇 424
TEL・FAX(0852)82-0800 kisuke-2@mable.ne.jp

古浦自治会

YATUKA
株式会社 八束電工
〒690-0863 島根県松江市比津町 281-12 TEL(0852)27-3022
<http://www.yatsuka.com/>

島根銀行
SHIMANE 松江市朝日町 484 番地 19
0852-24-1234 (代表)
<https://www.shimigin.co.jp>

佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録記念事業

第二回



令和元年 佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録記念事業

第二回 神座 カムクラ ~神々への舞~ 大蛇 各地に伝わる八岐大蛇の形態

ご協賛頂き誠にありがとうございました



有限公司 鹿島タクシー
タクシー・貸切バス事業

〒690-0332
松江市鹿島町佐陀本郷 621-3
TEL (0852)82-1515 FAX(0852)82-2608
E-mail kashima-tax@celery.ocn.ne.jp

Flower & Balloon Gift
みゆう
Me-You
株式会社サンユウ

竹歳 まり子

〒561-0817 大阪府豊中市浜 1-26-13
TEL&FAX(06)6333-2828 TEL&FAX(06)4867-1525
<http://www.flower-me-you.com/>

安全・親切・信頼の警備



株式会社 **ケイショウ**

代表取締役 浅津 和人

松江支社 島根県松江市坂本町 27 番地 TEL 0852-34-9100
出雲本社・米子営業所・大田営業所



色々な住まい、色々な笑顔
TSK住まいレススクエア
TSK SMILE SQUARE -松江○学園東-

SUMORINOIE
「健康」「快適」「安心」をお届けする
松江土建の強い家

松江土建

<https://www.matsue-doken.co.jp/smile/>
TEL 0120-18-3521



ご祭神 猿田彦命 天宇受売命

許曾志神社

〒690-0151 島根県松江市古曾志町八五九番地二

ご祭神 大己貴命ほか二柱

彌多仁神社

〒690-0141 島根県松江市莊成町一九四番地

ご祭神 達玉男命

多藝神社

〒690-0141 島根県松江市莊成町五四四番地一

ご祭神 琴瓈杵尊ほか六柱

出島神社

〒690-0122 島根県松江市西濱佐陀町八八一番地

ご祭神 国狹槌尊

天若宮神社

〒690-0856 島根県松江市薺津町一三六番地

ご祭神 蛙兒命ほか三柱

布奈保神社

〒690-0855 島根県松江市濱佐田町一〇二九番地

御津神社

〒690-0411 島根県松江市鹿島町御津 2911

「せんざい発祥の地」
鹿島まちづくり会議

会長 井上 正行



〒690-0333 島根県松江市鹿島町古浦 607-3
(まつえ北商工会内)
TEL (0852)82-2266 FAX(0852)82-1407
<http://kashimachou.kankou-matsue.jp/>

有限会社 鹿島緑化

受付 8:00 ~ 18:00 / 定休日 日曜・祝日

〒690-0801 島根県松江市鹿島町上講武 1250-1
TEL.0852-82-2526 FAX.0852-82-2535
<http://www.kashimaryokka.com/>

松江市下佐陀町 鎮座

八幡宮

佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録記念事業

第二回



令和元年 佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録記念事業

第二回 神座 カムクラ ~神々への舞~ 大蛇 各地に伝わる八岐大蛇の形態

ご協賛頂き誠にありがとうございました

松江市西長江町 鎮座

國司神社

片句八幡宮

〒690-0324 島根県松江市 鹿島町片句 347

恵曇神社

〒690-0332 島根県松江市 鹿島町佐陀本郷 655

日御崎神社

〒690-0332 島根県松江市 鹿島町佐陀本郷 1585

津上神社崇敬会

津上神社 〒690-0323 島根県松江市 鹿島町手続 1222

宇賀神社

〒690-0142 島根県松江市西谷町 200

松江市鹿島支所

〒690-0396 松江市鹿島町佐陀本郷 640-1
TEL (0852)55-5700 FAX (0852)55-5719

山は大山、お酒はキンポー
 金鳳
金鳳酒造有限公司

〒692-0056 島根県安来市清井町 343 TEL(0854)27-0111/FAX(0854)27-0112

出雲の國の箱庭

牡丹と雲州人蔵の里



有限公司 由志園

〒690-1492 島根県松江市八東町波入 1260-2

TEL (0852) 76-2255 FAX (0852) 76-2508

<https://www.yuushien.com/>

鹿島デイサービスセンター

こぢょっこらと

Kodyokkorato

〒690-0801

島根県松江市鹿島町上講武 894-1

TEL(0852)82-3355 / FAX(0852)82-3356

金杉 尚道



本社 〒693-0021 島根県出雲市塩冶町 1225-39

TEL:0853-22-6578 FAX:0853-23-2856

<http://cs-konishi.co.jp/>

加島 美知
(阿礼)

田中 豊昭



Kashima Shimane Lions Club

鹿島島根ライオンズクラブ

会長 青山 豪太郎

〒690-0333 島根県松江市鹿島町古浦 607-3 まつえ北商工会内

TEL(0852)82-2266 FAX(0852)82-1407

亀城 幸平

河西 公子

稻田 利治

島根県農業協同組合
くにびき地区本部
本部長 栗原 令
松江市西川津町 1635-1 TEL 0852-55-3000



農事組合法人 みのりの里講武

代表理事組合長 宮廻 健一

〒690-0804 島根県松江市鹿島町北講武 4-1 TEL/FAX(0852)82-1393

お食事処



鶴屋

北島 隆

惠雲 電話 82-1323
82-1125

(一社) 松江観光協会鹿島町支部

支部長 井上 正行

〒690-0396 島根県松江市鹿島町佐陀本郷 640-1

TEL(0852)55-5700 FAX(0852)55-5719

<http://kashimachou.kankou-matsue.jp/>



設計から納入まで一貫生産

多様なオーダーに対応するものづくり企業です



Shimane Jidoki Co.,Ltd.
"Only One" で世界に挑戦

当社は、電池、電気・電子部品、自動車部品、医療機器関連部品などの生産用設備(FA装置)を開発製造しています。
お客様の仕様に基づく自動機械システムを構想、設計、部品製作、機械組立、電気制御、調整、納品まで社内で一貫生産しています。

私たちが納入した装置が、日本国内のみならず、世界の生産工場で活躍しています。



メカトロニクスで未来を創造

島根自動機株式会社

〒690-0331 島根県松江市鹿島町佐陀宮内784

TEL:(0852)82-0576/FAX:(0852)82-2702

<https://www.shimane-jidoki.com/>



令和元年 佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録記念事業
第二回 神座 カムクラ ~神々への舞~ 大蛇 各地に伝わる八岐大蛇の形態
ご協賛頂き誠にありがとうございました

佐太神社 総代一同

宇藤 志郎

秋山 辰雄

龍谷 剛

山崎 廣安

井山 定夫

新宮 文雄

井山 隆



平成 28 年 9 月 正遷座祭 宝船餅曳行事 氏子総代を先頭に



年末 門松造り



二月三日 節分祭



二月十五日 管粥祭



七月十五日 御田植祭



国指定重要無形民俗文化財

大土地神楽保存会神楽方

会長 桐山和弘

島根県出雲市大社町

あおやま建硝

青山 信義

〒690-0803 島根県松江市鹿島町名分 1348-1
TEL(0852)82-2985

第二回



令和元年 佐太神能ユネスコ無形文化遺産登録記念事業

第二回 神座 カムクラ ~神々への舞~ 大蛇 各地に伝わる八岐大蛇の形態

ご協賛頂き誠にありがとうございました



お導きと出逢いの神社参道カフェ

佐太乃だんだん家

神在餅（ぜんざい）の起源は、佐太神社の神在祭で、八百万神様にお供えしたお餅と小豆を、神様が全国に帰られる神等去出祭（からさでさん）に煮てお供えしたもの。砂糖が伝来する前から伝わる甘くないぜんざい。神様は今でもこのぜんざいを神在祭にお召し上がりです。是非一度、ご賞味下さいませ

松江市鹿島町名分 1348-1 (佐太神社駐車場内)

Tel: 0852-82-1104

営業時間 10:00-16:00 不定休

丸山珈琲 & 佐太乃だんだん家 コラボイベント

『お福分け珈琲』

丸山珈琲バリスタ
鈴木 樹2016 ジャパンバリスタチャンピオンシップ
オニシップ優勝（日本史上初の3度目の優勝）
2017 ワールドバリ
スタチャンピオンシップ準優勝
(世界第2位)M A R U Y A M A
C O F F E E丸山珈琲社長
鈴木健太郎
カップ・オブ・エクセレンス
国際審査員
著者『コーヒーの扉を開こう』

10/27 (日) 10:00～ 丸山珈琲 @ 佐太乃だんだん家

ワールドバリスタチャンピオンシップ 2017 第2位鈴木バリスタ来店！

18:00～ 松江水燈路 島根県知事公舎(予定)

丸山珈琲 & ひとくちお供え神在餅（ぜんざい） * 整理券限定期数販売予定

10/28 (月) 珈琲セミナー@蓬莱吉日庵

丸山社長による世界の珈琲のお話と鈴木バリスタによる実演

11:30～12:30 初級編（一般の方向け、セミナー後ランチ 40名）

19:00～20:00 上級編（喫茶店、レストラン等、業界関係者向け、セミナー後懇談会 25名）

* 詳細については松江観光協会 HP「松江水燈路 2019」にてご案内させて頂いております

** 佐太乃だんだん家でも、お問い合わせ受け付けております

クリーンエネルギーの町 鹿島町



株式会社 テクニカルカンパニー

松江市鹿島町佐太本郷27番地3 〒690-0332

TEL 0852-82-3911 FAX 0852-82-3930



モバイルサイトはこちら

美しい伝統・文化を
未来へつなぐ

EMOTION
SMILE
HUMAN

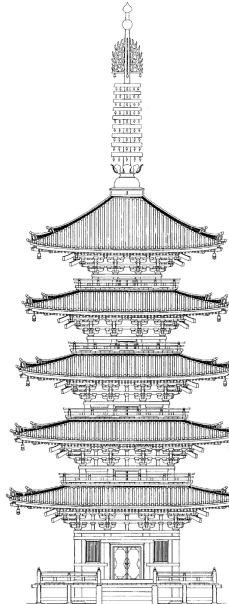
FUTURE
力ナツ技建工業株式会社

〒690-8550 島根県松江市春日町 636 番地 TEL.0852-25-5555 FAX.0852-27-1207
HP <http://www.kanatsu.co.jp/>



佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録記念事業
第二回 神座 カムクラ

令和元年 佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録記念事業
第二回 神座 カムクラ ~神々への舞~ 大蛇 各地に伝わる八岐大蛇の形態
ご協賛頂き誠にありがとうございました



伝統建築技術の継承

日本建築 美の追求



文化財建造物修理 神社仏閣建築
株式会社 石原建築

本社 〒694-0431 島根県大田市祖式町359-1
TEL (0854)85-2355
FAX (0854)85-2425

出雲支店 〒693-0213 島根県出雲市朝山町627-1
TEL (0853)48-9000
FAX (0853)48-9025

[社寺の石原](#) [検索](#)



佐太神社境内整備工事

SATOH
CORPORATION
株式会社 佐藤組

〒690-0851 島根県松江市堂形町37-3
TEL (0852)26-5480 / FAX(0852)27-8259
<http://www.satohgumi.co.jp/>

佐太神社崇敬会



写真撮影 加島 美知

佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録記念事業 第二回「神座」におけるポスター、チラシ、本誌プログラム作成において、加島美知（アリ）さんに写真をご提供いただきました。末筆となりますが本事業にあたりご協力いただいた加島様、社☆ガール（神社ガールズ研究会）様に篤く御礼を申し上げます。

「佐陀神能」ユネスコ無形文化遺産登録記念事業実行委員会

協力 社☆ガール（神社ガールズ研究会）

主に山陰に在住する、神話と神社が大好きな女子（年齢を問わず）の団体です。月1回の神社巡りを担当者がセッティングし、楽しく廻っています。神職さんや氏子さんのお話を聞いたり、時には遺跡やお寺、山登りなんかも織り交ぜ、美味しいランチを探すのも重要なポイントだったりします。また、出雲神話や古事記の勉強をしたり、そのすばらしさを知ってもらうような地域活動も適宜行っています。

<https://www.facebook.com/Shastar.girl/>



事務所 〒690-1501 島根県松江市美保関町美保関 602
電話番号 070-5303-0733 syagiri2012@yahoo.co.jp
会員数 66名（女性のみ）
賛助会員数 12名（2019年9月現在）

年会費	
◆会員	三千円
◆正会員	五千円
◆法人会員	参萬円

待遇

- ◆◆◆ 参拝時に御垣根にて拝札が出来ます
- ◆◆◆ 祭事催しのご案内を致します
- ◆◆◆ 毎年神社を授与致します
- ◆◆◆ 会員章を授与致します



※ご入会方法は佐太神社社務所へお問い合わせください。ホームページからもお申込頂けます。

入会のご案内

御由緒

尊きの神佐太神（猿田毘古大神）をはじめ十二柱の神々、この御社に集う八百万の神々からの広大無辺なる御神徳を授かりましょう

佐太神社は出雲國風土記（天平五年/733年）にカナンビヤマの麓に座す佐太大神社、或いは佐太御子社と見え、出雲國二ノ宮、出雲國三大社の一つとして、佐陀大社（さだのおおやしる）と称えられた御社です。

中世には伊弉冉尊の陵墓である比婆山の神陵を遷し祀った社と伝え、旧暦十月は母神である伊弉冉尊を讐んで八百万の神々が当社にお集ま

りになり、この祭りに関わる様々な神事が執り行われることから当社を「神在の社（かみありのやしる）」とも云い広く信仰を集めています。

また、九月二十四日、二十五日の御座祭で舞われる佐陀神能は出雲

国内をはじめ他の里神楽に大きな影響を与えたとされ、国的重要無形

文化財に指定、またユネスコ無形文化遺産に登録されています。

佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録記念事業

第二回

神座 カムクラ

令和元年 佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録記念事業

第二回 神座 カムクラ～神々への舞～大蛇 各地に伝わる八岐大蛇の形態

ご協賛頂き誠にありがとうございました

佐陀神能

Sada Shin Noh,
sacred dancing at Sada shrine

ユネスコ無形文化遺産登録

佐陀神能保存会

〒690-0331 島根県松江市鹿島町佐太神社宮内 73 佐太神社社務所内

TEL・FAX (0852) 82-0668

<https://www.sadajinjya.jp>

八上神社

〒690-0321 島根県松江市鹿島町武代 340-1

秋鹿神社

宮司 安達 敏明

〒690-0261 島根県松江市秋鹿町 2910

電話 (0852)88-2110

株式会社 蔵元
BONTON

〒999-0425 山形県西置賜郡飯豊町大字宇津沢 188
TEL・FAX (0238)87-1465 FAX (0238)87-1465
some_bonten@yahoo.co.jp

井上克己